



# 病歴／診断書 — 参加者記録 (重要部外秘情報)



## 署名する前によく読んでください。

この病歴／診断書は、ダイビングにはある程度の危険性が内蔵すること、トレーニング・プログラムにはやりとげなければならないことが告知されていることを、確認するためのものです。スクーバ・ダイビング・プログラムに参加するには、あなたの署名が必要です。また、スクーバ・トレーニング・プログラム受講中に健康状態などに変化が生じた場合は、ただちにインストラクターにその旨を伝えてください。

署名をする前に、この声明書をよく読んでください。スクーバ・トレーニング・プログラムに参加するには、この病歴／診断書の声明書の全項目に記入することが必要です。この声明書には病気に関する質問があります。未成年者の場合には親権者、または保護者の署名が必要になります。ダイビングはエキサイティングなスポーツですが、同時にハードな活動でもあります。正しいテクニックを用いる限りはダイビングは比較的 안전한スポーツです。しかし、安全手順に従わないときには、危険が増す場合があります。

スクーバを安全に楽しむには、極端なオーバーウェイトであったり、コン

ディションを軽視すべきではありません。ダイビングはそのときのコンディションしだいでは、非常に激しい活動にもなります。呼吸器系と循環器系が健康であること、すべての体内空間に異常がなく、健康であることが必要です。冠動脈性の心臓の疾患、現在カゼをひいていたり、うっ血、てんかん、重度の医学的なトラブル、アルコールや薬物依存の傾向などがある人は、ダイビングをすべきではありません。また、ぜんそく、心臓の疾患、その他の慢性的な病状がある人、現在定期的に投薬を受けている人は、プログラムに参加する前と終了後も定期的に、医師そしてインストラクターに相談してください。さらにスクーバ・ダイビングでの呼吸、圧平衡についてはプログラムの中でインストラクターから学びます。スクーバ器材の誤った使い方は、大きな障害につながる場合があります。正式な資格をもつインストラクターの直接の指導のもとで、器材の安全な使い方のすべてを学ばなければなりません。

この病歴／診断書について質問があるときには、署名をする前にインストラクターとともにもう一度検討してください。

## 病気に関する質問表

### 参加者の皆様へ：

この質問表は、レクリエーション・スクーバ・ダイビングに参加される前に、医師の診断を受けるべきかを判断するためのものです。あなたが以下の各質問に Yes と答えたからといって、ダイビングをする資格がないことを意味するわけではありません。あなたのダイビング時の安全性を阻害させる条件を判断させ、スクーバ・ダイビングに参加する前に医師からのアドバイスを必要とすることを意味します。

あなたの過去と現在の健康状態に関して、以下の質問に Yes または No で答えてください。回答が不明の場合は、安全を記して Yes と答えてください。

Yes の場合には、スクーバ・ダイビングに参加する前に、医師と相談していただかなければなりません。担当インストラクターが、医師へ持参する病歴／診断書とレクリエーション・スクーバ・ダイバーの健康診断ガイドラインをお渡しします。

- |   |  |  |
|---|--|--|
| <b>NO</b> 現在妊娠をしている、もしくはその可能性がある。   | <b>NO</b> 気胸がある、またはなつたことがある。                                       | <b>NO</b> 腰、腕、脚の外科手術、外傷や骨折後の後遺症がある。                            |
| <b>NO</b> 現在処方せんによる投薬を受けている(避妊薬、マラリア予防薬は除く)。  | <b>NO</b> その他の肺の病気がある、またはなつたことがある。もしくは肺(胸部)の手術を受けたことがある。           | <b>NO</b> 高血圧症、または血圧降下剤など、血圧をコントロールする薬を服用している、またはしていた。         |
| <b>NO</b> 45歳以上の方で、以下の項目が1つ以上あてはまる。<br>・パイプ、葉巻、タバコを喫煙している。<br>・現在診療を受けている。<br>・コレステロール値レベルが高い。<br>・高血圧である。<br>・家族に心臓発作や脳卒中の病歴がある方がいる。<br>・食事療法で調整しているが糖尿病である。 | <b>NO</b> 行動上の問題、または精神的、心理的な問題がある、またはなつたことがある(不安発作、閉所恐怖症、広場恐怖症など)。 | <b>NO</b> 心臓疾患にかかっている、またはわずらっていた。                              |
|   | <b>NO</b> てんかん、発作、けいれんをおこす、またはそれを抑えるための薬を服用している。                   | <b>NO</b> 心臓発作がおきる、またはおきたことがある。                                |
|   | <b>NO</b> 複雑型偏頭痛を繰り返し起こす、またはそれを抑えるための薬を服用している。                     | <b>NO</b> 狭心症、あるいは心臓外科手術、または動脈手術を受けている                         |
|   | <b>NO</b> 意識喪失や、気絶したことがある。(完全、または一時的に意識を失う)。                       | <b>NO</b> 副鼻腔の手術を受けている。  |
|   | <b>NO</b> 乗り物酔いがよくある。または乗り物酔いが激しくある(船酔いや車酔いなど)。                    | <b>NO</b> 耳の病気を繰り返し起こす、または起こしていた。                              |
|   | <b>NO</b> 赤痢または脱水症状で治療が必要である。                                      | <b>NO</b> 出血やその他の血液障害がある、またはあった。                               |
|   | <b>NO</b> 何らかのダイビング事故や減圧症である、またはなつたことがある。                          | <b>NO</b> ヘルニアにかかっている、またはわずらっていたことがある。                         |
|   | <b>NO</b> 中等度の運動ができない(例えば、約16キロの距離を12分以内で歩くことができない)。               | <b>NO</b> 潰瘍、または潰瘍の外科手術を受けている。                                 |
|   | <b>NO</b> 過去5年間に、意識を失う頭部の損傷があった。                                   | <b>NO</b> 大腸や回腸の人工肛門の手術を受けている。                                 |
|   | <b>NO</b> 腰痛を繰り返し起こす。  | <b>NO</b> 過去5年間に娯楽で麻薬を使用したり、治療のために麻薬を用いた、またはアルコール依存症になったことがある。 |
|   | <b>NO</b> 腰部または背骨の手術を受けている。  |  |
|   | <b>NO</b> 糖尿病である、またはなつたことがある。                                      |  |

私の病歴について、上記の情報は、私の知るかぎり間違いはありません。スクーバ・プログラム受講中に私の病歴に何らかの変化が生じた場合、私はそのすべてについて、インストラクターに伝える義務があることを確認します。私は現在あるいは過去の健康状態、あるいはいかなる健康状態の変化も明らかにしなかった場合、記載漏れの事項に関する責任を負うことに同意します。

**田中 太郎**

参加者署名

**田中 一郎**

親権者もしくは保護者署名

**2018/1/1**

日付(年/月/日)

**2018/1/1**

日付(年/月/日)

Product No. 10063J (Rev. 06/16) Version 2.01

© PADI 2014



20歳未満の方は親権者もしくは保護者の署名が必要となります。  
署名が無い場合はご参加する事が出来ませんのでご注意ください。